



# 大戸川ダムだより



おうこう

ダムサイト右岸で横坑の掘削が始まります

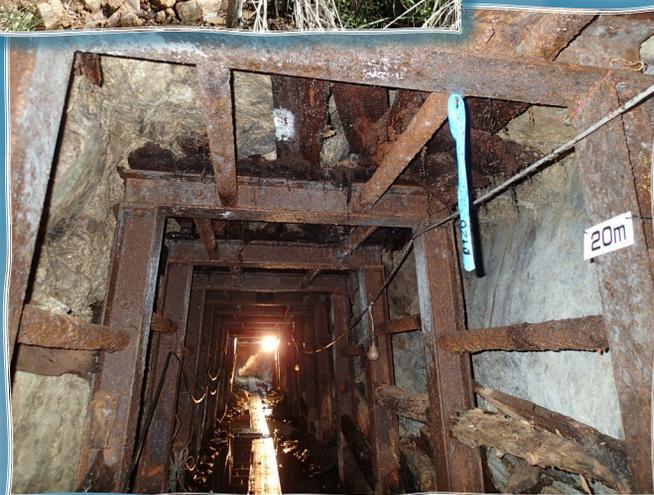


▲横坑入口の様子  
(大戸川ダム旧ダムサイト)



▲横坑掘削後、岩盤清掃（高圧の水などで余計な土砂などを除去し、調べたい岩盤を露出させる）した様子（他ダム）

▶支保工（掘削した横坑が崩れないように支える金属製の枠）設置後の横坑入口の様子（大戸川ダム旧ダムサイト）



## 大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事 / (株) 広川組



監理技術者 / 足立有央

ダムを建設する場所の地質状態を詳しく調査するための横坑（横穴）掘削工事をするために、7月下旬から旧大津信楽線の現道上での工事にとりかかります。

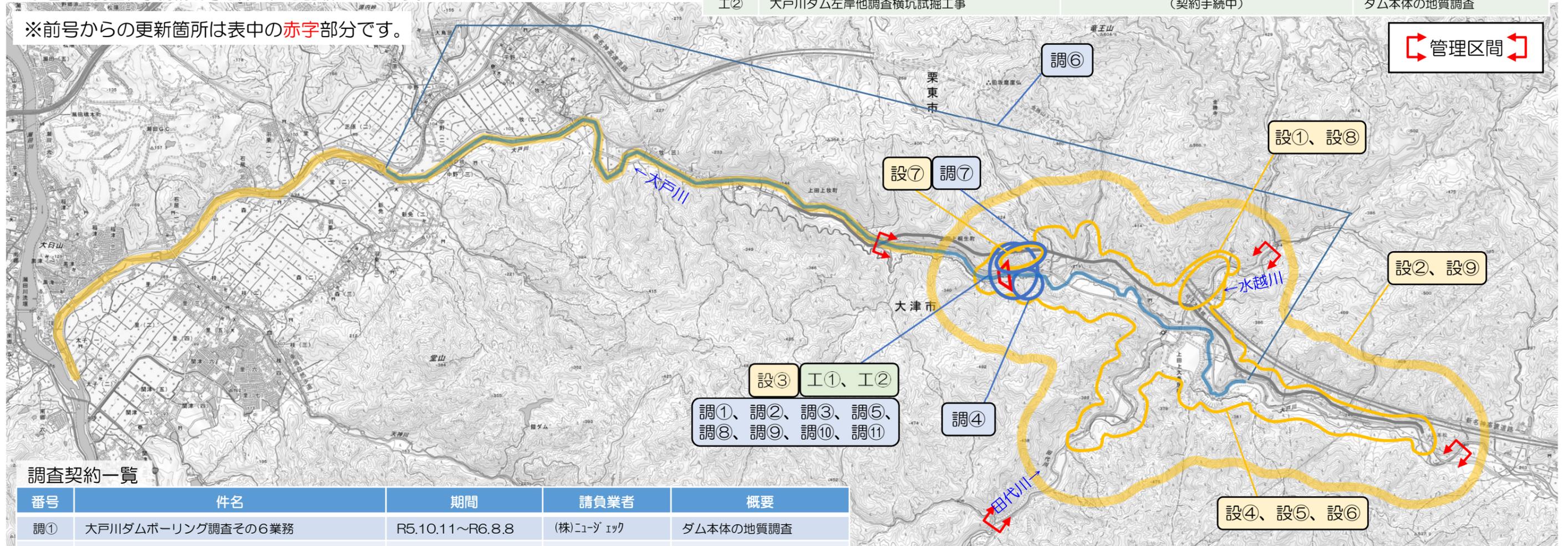
片側交互通行を伴う工事のため、現場周辺を通行される方にはご不便をおかけすると思いますが、安全第一を心掛け極力ご迷惑をおかけしないよう工事を行ってまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 令和6年度事業実施予定位置図

※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。

(R6.6.30時点)

※前号からの更新箇所は表中の赤字部分です。



## 調査契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
調①	大戸川ダムボーリング調査その6業務	R5.10.11~R6.8.8	(株)ニューゼック	ダム本体の地質調査
調②	大戸川ダムボーリング調査その7業務	R5.10.7~R6.7.8	大日本ガイヤコンサル(株)	ダム本体の地質調査
調③	大戸川ダムボーリング調査その8業務	R5.10.11~R6.7.8	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調④	大戸川ダム貯水池ボーリング調査その2業務	R5.10.7~R6.7.8	大日本ガイヤコンサル(株)	ダム貯水池内の地質調査
調⑤	大戸川ダム本体左岸地質調査その1業務	R6.5.21~R6.10.30	大日本ガイヤコンサル(株)	ダム本体の地質調査
調⑥	大戸川ダム漁業補償調査算定等業務	R6.4.24~R7.2.28	大阪エンvironment(株)	漁業実態の調査
調⑦	大戸川ダム管理用道路地質調査業務	R6.5.18~R6.12.20	日本工営(株)	ダム管理用道路の地質調査
調⑧~ 調⑩	大戸川ダム本体右岸地質調査その1~その4業務	(契約手続中)		ダム本体の地質調査

## 設計・検討契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2~R6.9.30	中央復建コンサル(株)	付替県道栗東信楽線の設計
設②	大戸川ダム環境影響とりまとめ業務	R5.7.27~R6.9.30	日本工営(株)	環境影響のとりまとめ
設③	大戸川ダム水理検討業務	R6.2.1~R7.3.21	国立研究開発法人 土木研究所	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設④	大戸川ダム実施設計業務	R6.3.5~R6.12.13	(株)ニューゼック	ダム本体の詳細設計他
設⑤	大戸川ダム地質とりまとめ業務	R6.3.9~R6.11.15	(株)ニューゼック	地質調査結果のとりまとめ他
設⑥	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16~R6.12.20	(株)リエソルコンサル	事業用地利活用検討
設⑦	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21~R7.3.28	(株)リエソルコンサル	ダム管理用道路の詳細設計
設⑧	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工他詳細設計業務	R6.5.8~R7.2.28	(株)I日本技術開発	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設⑨	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.7.19~R7.2.28	日本工営(株)・ (一財)水源環境センター	環境調査結果のとりまとめ

## 工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事	R6.5.14~R6.11.28	(株)広川組	ダム本体の地質調査
工②	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	(契約手続中)		ダム本体の地質調査

## 【コラム】大戸川ダム周辺の土木遺産③ ～信楽高原鉄道・第一大戸川橋梁～

- ✓ 信楽高原鉄道（旧国鉄信楽線）の勅旨・玉桂寺前間にある第一大戸川橋梁は、1953(昭和28)年の豪雨による旧橋の流出に伴い、1954(昭和29)年に架けられました。
- ✓ 全長31m、国内初の本格的なポストテンション式プレストレストコンクリート橋※です。



- ✓ 日本のコンクリート技術の発展に大きく寄与したことが評価され、2021(令和3)年に国の重要文化財に指定されました。
- ✓ 近年の調査でも、健全な状態が保たれていることが分かっており、コンクリート品質の高さが伺えます。

※特殊な鋼材、工法で製作された、通常の鉄筋コンクリートよりも高強度のコンクリートを主材に用いた橋梁。現代では珍しくないが、当時最先端の技術。鉄道省（国鉄の前身）では1940年代から研究されており、そこで蓄積された知見やフランスから導入された技術が活用された。

# ◆大戸川ダムの進捗状況（令和6年6月末時点）



イマココ

## 工事

- ✓ ダム本体の設計・施工に必要な地質調査を行うための横坑試掘工事のうち、右岸側の工事では掘削に向けた準備を進めており、7月下旬から旧大津信楽線の現道上の工事にとりかかる予定です（工①）。左岸側の工事は引き続き契約手続きを進めています（工②）。

## 調査

- ✓ 調⑤は、現地作業（ボーリング調査）を開始しました。
- ✓ ダムサイトの地質調査業務として、新たに調⑧～⑪の契約手続きを開始しました。

## 設計・検討

- ✓ 設⑧では、付替県道栗東信楽線の北側区間（設①で設計中）で落石が発生する原因となる<sup>てんせき</sup>転石（周りの土砂が浸食され、地表面に浮き出た<sup>うきいし</sup>岩石）・浮石（岩盤の亀裂が発達し、剥離した岩石）の調査を実施しました。今後は、調査結果をもとに落石対策の検討を行います。



- ✓ 新たに契約した設⑨では、これまで実施してきた環境調査結果のとりまとめを行うとともに、ダム建設後の環境保全に向けた計画を検討していきます。

## 【発行】

国土交通省 近畿地方整備局  
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32  
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340  
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>  
X（旧 Twitter） @daidogawadam



webサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム

検索

大戸川ダム